



逗子レガッタ 2019 ジュリーポリシー

1. 事故の無い安全なレースが展開されることを本大会の第一目標とする。
 - ① 尚、重大な事故を起こした場合は、レース委員会に速やかに報告して頂くことを求める。
 - ② 併せて、参加艇、選手に満足して頂ける大会になることを願い、心掛ける。
2. プロテスト委員会は、基本的に艇に対しては抗議を行わない。
 - ① 但し、RRS2(公正な帆走)、RRS69(重大な不正行為)に抵触する可能性の有る場合には、プロテスト委員会は抗議することも考慮する。
 - ② 尚、抗議に値するルール違反を目撃、情報を入手した場合には、プロテスト委員会に報告して頂くことを求める。
3. 裁量ペナルティ【DP】に付いてはWorld Sailingの指標に基づいて対応する。
 - ① (NPに関しては10%の得点ペナルティーとする。)
4. 抗議、救済要求の有効性の判定にあたっては、RRS、SIも含め、定められた手続きを厳格に適用する。
5. レース運営等でルール上の問題点等がある場合は、その問題をなるべく早く回避、解決できるように、レース委員会等と緊密に連絡を取ることを心掛ける。

以上

2019年9月9日

逗子レガッタ 2019
プロテスト委員長 栗原 伸太郎